マット陸上システム Windows11 を簡易サーバーとして使用する方法

※この解説書はWindows11 の場合の手順について解説しています。Windows10 または7での手順については別マニュアルを参照して下さい。

少ない台数で競技会を運営する場合、サーバーOSのコンピューターがない場合はWindows11のコンピューターを1台簡易サーバーとして使用して運営することができます。簡易サーバーの設定の方法とクライアントコンピューターからの接続について説明します。

1. Windows11 のコンピューターを簡易サーバーとして使用する場合の注意

・簡易サーバーの限界

サーバーOS のコンピューターとは大きく異なる点がユーザー上で共有されているかどうかという点です。Windows11 の共有はログインしているユーザーの上で資源の共有が行われているため、その資源を使うクライアントコンピューターが増えると大幅にパフォーマンスが低下します。接続できるクライアントの台数は Windows11 の場合およそ 10 台と言われていますが、使用するデータの内容によっては、それ以下になる場合もあります。また、簡易サーバーとなるコンピューターではできるだけ操作をしないことをおすすめします。

- ・サーバーOSと異なりブラウザによる参照(Athleweb)は使用できません。
- ・ネットワーク接続のために必要な IP アドレスが自動的に振られませんが、しばらく放って置くとプライベートアドレスと呼ばれる 169.254.xxx.xxx のアドレスが設定されます。このまま通信できますが、個別に固定 IP アドレスを設定したり、DHCP サーバー機能の付いたブロードバンドルーターなどを用いて IP アドレスを振ることも有効です。
- ・簡易サーバーとして使用するコンピューターの「単体」(C:\$\$\$) にデータを置くため、単体で作成しているデータが消えてしまいます。データを作成している場合は、予めバックアップを取っておいてください。

2. Windows11 を簡易サーバーとする設定方法

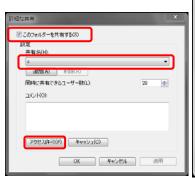
1. データ保存場所を共有する

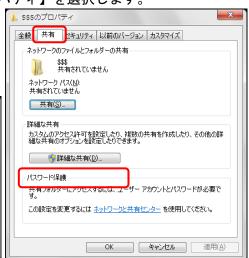
データの保存はCドライブの「\$\$\$」フォルダとします。このフォルダを共有名「x」で共有することでクライアントコンピューターからはネットワークドライブの割り当てをする際に「¥¥コンピューター ¥x」とすることでデータにアクセスすることができます。

- 1) 簡易サーバーとして使いたいコンピューターを Administrator 管理者権限をもったユーザーで起動します。
- 2)「エクスプローラー」または「コンピューター」から「Cドライブ」を選択し、「\$\$\$」フォルダを 選択して右クリックし表示されたサブメニューから【プロパティ】を選択します。
- 3)「プロパティ」から「共有」タブを開きます。
- 4) 共有を設定する画面が開いたら

「このフォルダーを共有する」にチェックを付け、 「共有名」欄に「x」と入力し「アクセス許可」を

クリックします。





5)アクセス許可を設定する画面が開いたら 「グループ名またはユーザー名」欄から 「Everyone」を選択し、

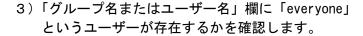
「Everyone のアクセス許可」欄で

「フルコントロール」の「許可」にチェックを付け、 このフォルダへのアクセスを許可します。

- ※「Everyone」が表示されていない場合には「追加」ボタンから「Everyone」を追加します。
- 6) 設定後は「OK」を押して終了します。

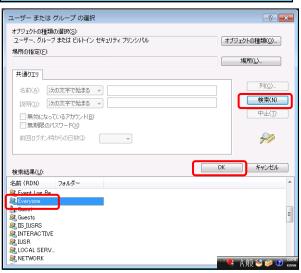
2. フォルダへのアクセス許可を設定する

- 1) 1. と同様、「エクスプローラー」または「コンピューター」 から「Cドライブ」を選択し、「\$\$\$」フォルダを選択して 右クリックし表示されたサブメニューから 【プロパティ】を選択します。
- 2)続いて「セキュリティ」タブを開き、 中程の「編集」ボタンをクリックします。

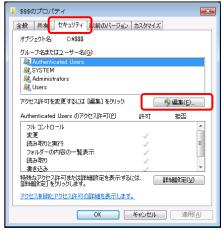


存在しない場合は「追加」ボタンをクリックし、「詳細設定」ボタンをクリック、「検索」ボタンから「Everyone」を追加します。



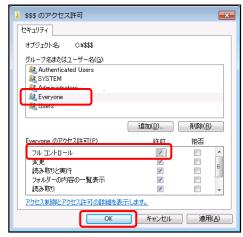








4)「everyone」ユーザーを選択し、下のアクセス許可欄に表示されるアクセス許可で「フルコントロール」の「許可」欄にチェックを付け、「OK」をクリックします。



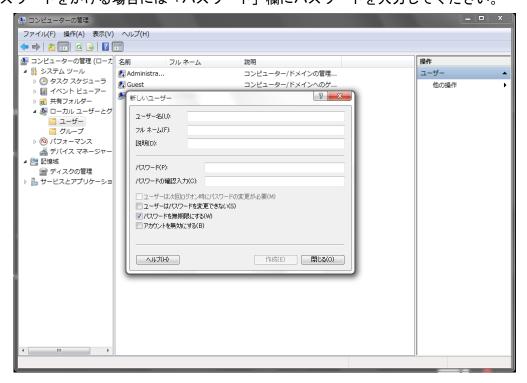
3. アクセス可能なユーザーを登録する

- 1)「コンピューターの管理」を開いてユーザーを追加します。 (コンピューターの管理は画面左下隅の【Windows マーク】を右クリックして表示されたサブメニューから【コンピューターの管理】をクリックして開きます。
- 2) コンピューターの管理画面が開いたら、左側のツリー形式表示部分上部の「システムツール」を クリックし、「ローカルユーザーとグループ」から「ユーザー」を選択します。 画面右側にすでに登録されているユーザーの一覧が表示されます。
- 3)「ユーザー」画面の空いているところ(空白の部分)で右クリックし「新しいユーザー」メニュー を選択します。
- 4) 表示された「新しいユーザー」ウインドウに新しいユーザー名を登録します。 ※ユーザー名はクライアントコンピューターを起動する際に入力するユーザーをここに登録しておくと、ネットワークドライブの割り当ての際にユーザー名を気にすることなくつなぐことができます。

「ユーザー名」欄にユーザー名を入力し、「ユーザーは次回ログオン時にパスワード変更が必要」の チェックを外し、「パスワードを無期限にする」にチェックを付けます。

※パスワードについて

パスワードをかける場合には「パスワード」欄にパスワードを入力してください。

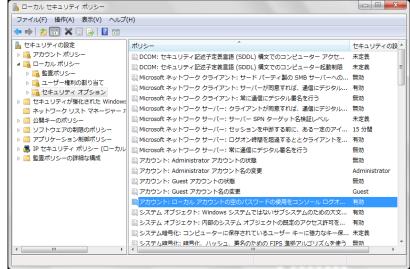


4. パスワードなしユーザーによるネットワークからのアクセスを許可する方法

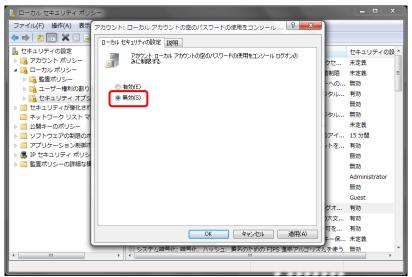
1)【Windows マーク(スタートボタン)】をクリックし 【すべて>】から【Windows ツール】を選択します。 表示されたウインドウから【ローカルセキュリティポリシ ー】をダブルクリックして開きます。



- 2) 画面左ツリー部分で「セキュリティの設定」
 - 「ローカルポリシー」
 - 「セキュリティオプション」の順に開きます。
- アカウント:ローカル アカウントの空のパスワードの 使用をコンソールログオンのみ に制限する」という項目を 見つけダブルクリックする。



4)「有効」から「無効」に変更して「OK」を押します。



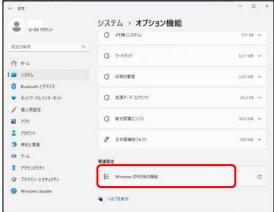
5. 少し古い PC からのアクセスを可能にするために SMB1.0 を有効にする方法

Windows7より以前の PC から Windows11 の簡易サーバーにアクセスするためにはこの設定が必要です。

1) 画面左下隅の【Windows マーク】を右クリックして表示されたサブメニューから【設定】をクリックして「システム」画面を開き、右側の下の方にある「オプション機能」をクリックします。



2)右側の画面が変わったら、下の方にある「Windows のその他の機能」をクリックします。

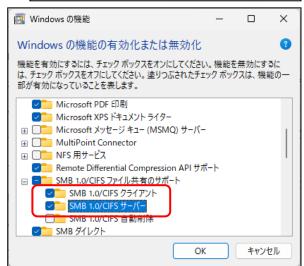


3) Windows の機能の有効化または無効化画面が表示されたら、「SMB1.0/CIFS ファイル共有のサポート」の「SMB1.0/CIFS クライアント」

「SMB1. O/CIFS サーバー」

にチェックを付け【OK】をクリックします。

このとき、Windows の再起動が必要な場合があります。



以上で設定は完了となります。

3. クライアントコンピューターから簡易サーバーに接続する

1. IPアドレスの構成を考える

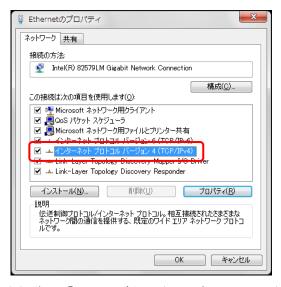
ネットワーク接続に必要なIPアドレスを設定します。HUBに接続してしばらくすると設定されるプライベートアドレスを使用するか、DHCP機能を搭載したブロードバンドルーター等から自動的にIPアドレスを受信するような場合はこの操作は不要です。

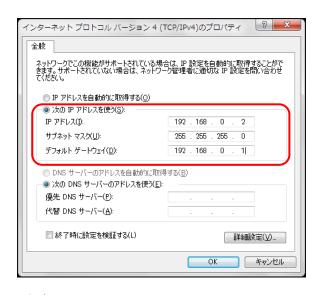
コンピューターには1つのIPアドレスを振り、同一ネットワーク上で重複しないようにしなければなりません。どのコンピューター何番のIPアドレスを振るかを考えます。

5台使用する場合の IP設定例

	用途	IP アドレス	サフ゛ネットマスク
1	簡易サーバー	192. 168. 0. 1	255. 255. 255. 0
2	クライアント1	192. 168. 0. 2	255. 255. 255. 0
3	クライアント2	192. 168. 0. 3	255. 255. 255. 0
4	クライアント3	192. 168. 0. 4	255. 255. 255. 0
5	クライアント4	192. 168. 0. 5	255. 255. 255. 0

- 2. コンピューターに I Pアドレスを設定する
- 1) ネットワーク接続設定画面を開きます。 (画面左下【Windows マーク】の隣にある【検索窓】に「ネットワーク」と入 カすると表示される候補から「ネットワーク接続の表示」を選択します。
- 2)「イーサネット」を選択し、右クリックして「プロパティ」を選択します。
- 3) 画面中央の「この接続は次の項目を使用します」欄から「インターネットプロトコルバージョン 4(TCP/IPv4)」を選択し、「プロパティ」ボタンをクリックします。
- 4)「次のIPアドレスを使う」にチェックを付け、IPアドレス、サブネットマスクにそれぞれ 値を入力します。





ネットワーク接続の表示 コントロール バネル

(中) モバイルホットスポット② プロキシの設定③ VPN の設定

ファイアウォールとネットワーク保証

□ Bluetooth とその他のデバイスの設定

Q ネットワーク・検索結果をさらに表示する Q ネットワークと共有センター

8

Q ネットワークプリント

アプリ (1)

Q <u>371-7-7</u>

- 5) 登録後は「OK」ボタンを順に押して画面を閉じます。
- 6) LANケーブルを接続すると設定したIPアドレスが有効になります。

3. ネットワークドライブの割り当て

競技会中陸上システムでは簡易サーバーの\$\$\$フォルダを共有し、クライアントコンピューターからネットワークドライブとして割り当てて使用します。そこにデータが蓄積されます。

●ネットワークドライブの割り当て

- 1)【Windows マーク】を右クリックし 「エクスプローラー」を選択します。
- (PC) の上で右クリックし「ネットワークドライブの割り当て」を選択します。
- 3)以下のように入力します。

(ドライブZ:に割り当てる場合)

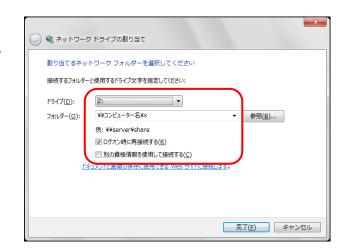
- ▼ドライブ Z:
- ▼フォルダ ¥¥コンピューター名¥x

または

¥¥IP アドレス¥x

(コンピューター名及び IP アドレスは 簡易サーバーのものを指定)

▼ログオン時再接続するにチェックをつける



※:簡易サーバーのコンピューター名は、【Windows マーク】を右クリックし【システム】を選択すると表示される「デバイス名」がこれに該当します。

4) 【完了】ボタンをクリックすると指定のフォルダが開きネットワークドライブの割り当てが完了します。

4. データを簡易サーバーにセットする

データを簡易サーバーにセットする手順については、陸上システムマニュアルデータ作成編の「リストア」を参考にしてください。

5. クライアントから陸上システムでデータを参照できるように設定する

陸上システムはデータ参照する先を「単体」や「ネットワーク」に切り替えることにより、1 台で使用 したり、複数台で使用したりすることができます。ここでは単体からネットワークに切り替える方法を 解説します。

1) 陸上システムメニューを起動し、【システムメンテナンス】を選択、パスワードを入力してサブメニューを開きます。



2) サブメニューから【MKRCONF大会設定】を選択します。



3)「ネットワーク」を選択し、「サーバーからマスターをコピーしますか?」と表示されたら【はい】 を選択。するとサーバーからマスター(選手名や所属、固定情報など)がコピーされます。

